

大分市農林水産業振興基本計画

概要版

将来に夢と希望があふれ、持続力ある農林水産業の創造



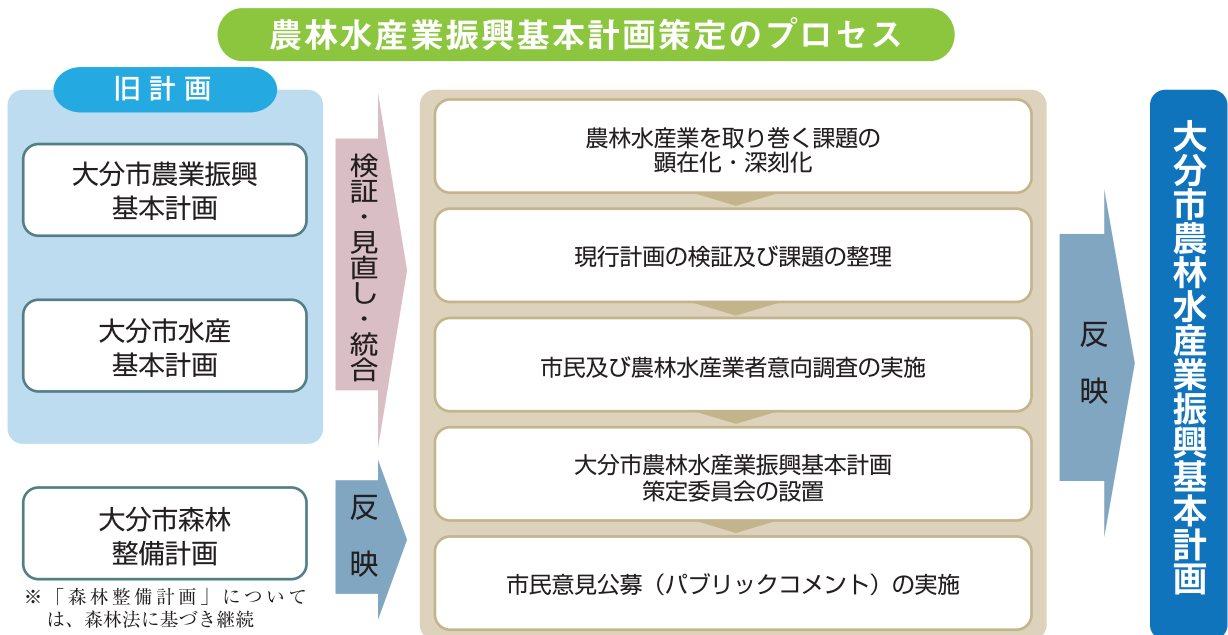
大分市

平成28年12月



1 計画策定の趣旨

農林水産業を取り巻く現状と将来の動向を見据え、本市が有する農地、森林、川、海の地域資源、自然環境を背景に、農業、林業、水産業を総合的かつ横断的に推進することにより、それらが持つ機能を十分に発揮させ、市民一人ひとりがその恵みを享受できるとともに、農林水産業が基幹産業として持続的に発展し、「大分市」としてのブランド力を高めることができるよう、本計画を新たな本市の農林水産業の指針として策定します。



2 計画期間

平成29年度（2017年度）から平成33年度（2021年度）（5年間）

3 計画の位置付け

本計画は、市政運営の基本指針となる「大分市総合計画」や地域強靱化の指針となる「大分市国土強靱化計画」、国が策定している「食料・農業・農村基本計画」「森林・林業基本計画」「水産基本計画」、大分県が策定している「おおいた農林水産業活力創出プラン 2015」等の内容を踏まえ、本市の農林水産業を総合的かつ計画的に推進するための指針を示したものです。

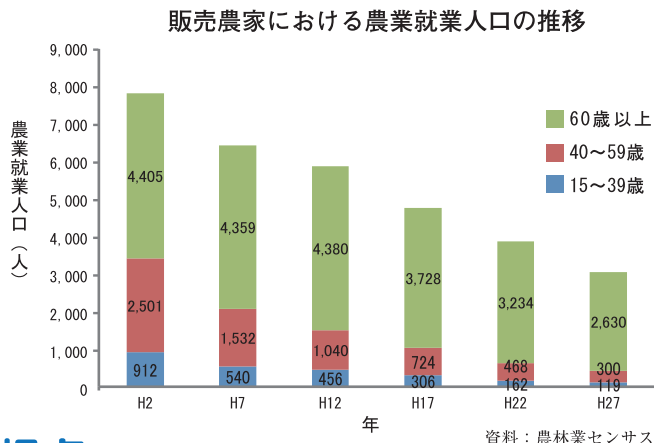
また、本市の「食育推進計画」「環境基本計画」「商工業振興計画」等の関連計画との整合を図りながら、計画の実現を図っていきます。

4 農林水産業を取り巻く情勢

- ◆地球規模での気候変動の影響
- ◆世界の食料需給等の見通しとグローバル化の進展
- ◆高齢化や人口減少による食料・農山漁村への影響
- ◆食に対して多様化する消費者ニーズ

5 本市農林水産業における現状と課題

- ◆ 農林水産業者の減少と高齢化による担い手不足
- ◆ 有害鳥獣による農林水産物被害の増大
- ◆ 農山漁村の衰退による多面的機能の低下
- ◆ 農林水産物の価格の低迷
- ◆ 資材費の高騰などによる経営費の圧迫など



6 農林水産業を支える3つの視点

人づくり

農山漁村の持続的な生産活動や維持・保全を進める上で最も重要な役割を担うさまざまな「人」とその「人づくり」を支援します。

⇒「将来の農林水産業を支える人づくり」

ものづくり

高い生産性と消費者ニーズに対応した特色ある農林水産物や加工品づくり、環境と調和した農林水産業のあり方、地産地消等を推進します。

⇒「信頼され魅力あふれるものづくり」

地域づくり

生産性が高く効率のよい農林水産業の生産基盤の整備や多面的機能の維持・発揮、地域資源を生かした都市と農山漁村の交流等を図ります。

⇒「特性を生かした活力ある地域づくり」

7 計画の目標像

本市の農林水産業が市民の豊かで健全な暮らしを実現し、将来にわたり夢と希望が持てるよう努めるとともに、それらを次世代に継承し、持続的に発展する農林水産業の創造を目指していくため、本農林水産業振興基本計画の目標像を

将来に夢と希望があふれ、持続力ある農林水産業の創造

と設定しました。

本計画の3つの視点である「人づくり」「ものづくり」「地域づくり」が相互に補完しながら、本目標の実現に寄与していくものです。

8 計画の推進

本計画の実現に向けて、着実に各種施策を推進し、目標の達成を図るため、農林水産業者をはじめ、消費者、関係機関、関係団体、企業、NPO法人・ボランティア団体などがそれぞれの役割を果たしつつ、協働・連携した取組を行います。

また、この計画に位置付けられた各種施策の進捗状況や成果を目標指標の達成状況などにより、把握、評価、検証し、毎年、その措置状況等をホームページなどで市民に広くお知らせします。

9 施策の体系

1 将来の農林水産業を支える人づくり

(1) 多様な担い手の確保・育成	
①	力強く持続可能な経営体の育成
②	地域を守る担い手の育成
③	新たな担い手の確保・育成
④	青年・後継者の育成
⑤	女性・高齢者の活動支援
(2) 「食」や「暮らし」と農林水産業の理解の促進	
①	生産者と消費者や食品関連事業者等との交流促進
②	食育・木育の推進

2 信頼され魅力あふれるものづくり

(1) ニーズに即した生産・供給体制の整備	
①	農産物の生産振興
②	林産物の生産振興
③	水産物の生産振興
④	災害に強い生産基盤の整備
(2) 安全で環境に配慮した農林水産業の振興	
①	安全・安心な生産出荷体制の充実
②	資源循環型農林水産業の取組推進
③	再生可能エネルギー等の利活用推進
(3) 市産農林水産物の利用・流通拡大の推進	
①	地産地消の推進
②	地域ブランド力の構築と強化

3 特性を生かした活力ある地域づくり

(1) 農山漁村環境の整備と維持管理	
①	生産基盤の整備
②	快適な農山漁村環境の整備
(2) 優良農地等の保全と効率的利用の促進	
①	優良農地等の保全
②	農地の利用集積及び効率的利用の促進
③	遊休農地の発生防止と有効活用の促進
(3) 都市との交流による農山漁村の活性化	
①	地域資源を生かした交流促進
②	交流施設の活用促進
(4) 多面的機能の維持発揮	
①	集落ぐるみの農地の保全
②	森林の保全
③	漁場・水産資源の保全
(5) 有害鳥獣被害対策	
①	環境整備の推進
②	予防対策の推進
③	捕獲対策の推進
④	獣肉利活用の促進

10 重点推進品目

本市の特性を生かした経営が行われており、将来にわたり、攻めの農林水産業が実践できるためのブランド力、産地間競争力の向上が期待できる品目

《農業》 おおば、にら、みつば、いちご、水耕せり、パセリ、ピーマン
乳用牛（生乳）、肉用牛（和牛子牛、雑子牛）

《林業》 木材、乾椎茸

《水産業》 関あじ・関さば、イサキ

◎重点的に実施する施策

- ◆ 新規就業者に対する研修体制の充実
- ◆ 新規就業者の施設・機械の導入支援
- ◆ 新規就業者に対する就業後の経営定着支援
- ◆ 産地拡大、生産拡大、ブランド化の推進
- ◆ 施設園芸の大規模団地の整備の推進
- ◆ ICT、IoT等の先進技術導入の推進
- ◆ 高性能林業機械等を用いた低コスト作業の推進
- ◆ 林道等の生産基盤整備の推進
- ◆ 魚礁漁場・増殖場整備の推進

11. 施策の概要

1 将来の農林水産業を支える人づくり

重点推進項目

- ◎農林水産業における新規就業者等新たな担い手の確保・育成
- ◎集落営農組織の育成

(1) 多様な担い手の確保・育成

基本的な方向

- ◆農林水産業者の所得向上、労働時間の削減などに向けた経営改善や経営安定対策の推進
- ◆地域農業をけん引する集落営農組織の育成
- ◆新規就業者や他産業から参入する企業など新たな担い手の確保・育成
- ◆将来の農林水産業を担う青年・後継者や農林水産業を支える高齢者・女性の活動支援
- ◆自然災害等の緊急時や想定外の事態における経営の安定化に向けた支援



就業希望者の実践研修



農業青年組織（おおいたアグリユース）の皆さん

(2) 「食」や「暮らし」と農林水産業の理解の促進

基本的な方向

- ◆「食」や「暮らし」の農林水産業とのつながりについて、正しい認識や理解と関心を深めてもらうための取組の推進
- ◆農林水産業が有する多面的機能に対する市民の広い理解や意識の醸成



農産物の産地見学会



椎茸の駒打ち体験

2 信頼され魅力あふれるものづくり

重点推進項目

- ◎重点推進品目の生産拡大
- ◎先進技術を駆使した大規模園芸団地の建設による産地の拡大
- ◎農林水産物の6次産業化・ブランド化
- ◎地産地消の取組強化
- ◎地域材（市産材）の利活用
- ◎水産業における新たな増殖・養殖業の取組

(1) ニーズに即した生産・供給体制の整備

基本的な方向

- ◆重点推進品目を中心とした生産拡大や省力化・低コスト化による産地間競争力の強化
- ◆安全・安心な農林水産物供給体制の強化
- ◆災害に強い栽培施設整備の推進
- ◆栽培技術の向上や先進技術導入等による高品質・安定生産の推進
- ◆適正な造林・育林の促進及び木材の生産拡大の推進
- ◆水産資源の保全と安定した漁業生産の推進



(2) 安全で環境に配慮した農林水産業の振興

基本的な方向

- ◆生産から出荷において発生するさまざまなリスクや環境負荷の低減による安全で環境に配慮した農林水産業の推進



(3) 市産農林水産物の利用・流通拡大の推進

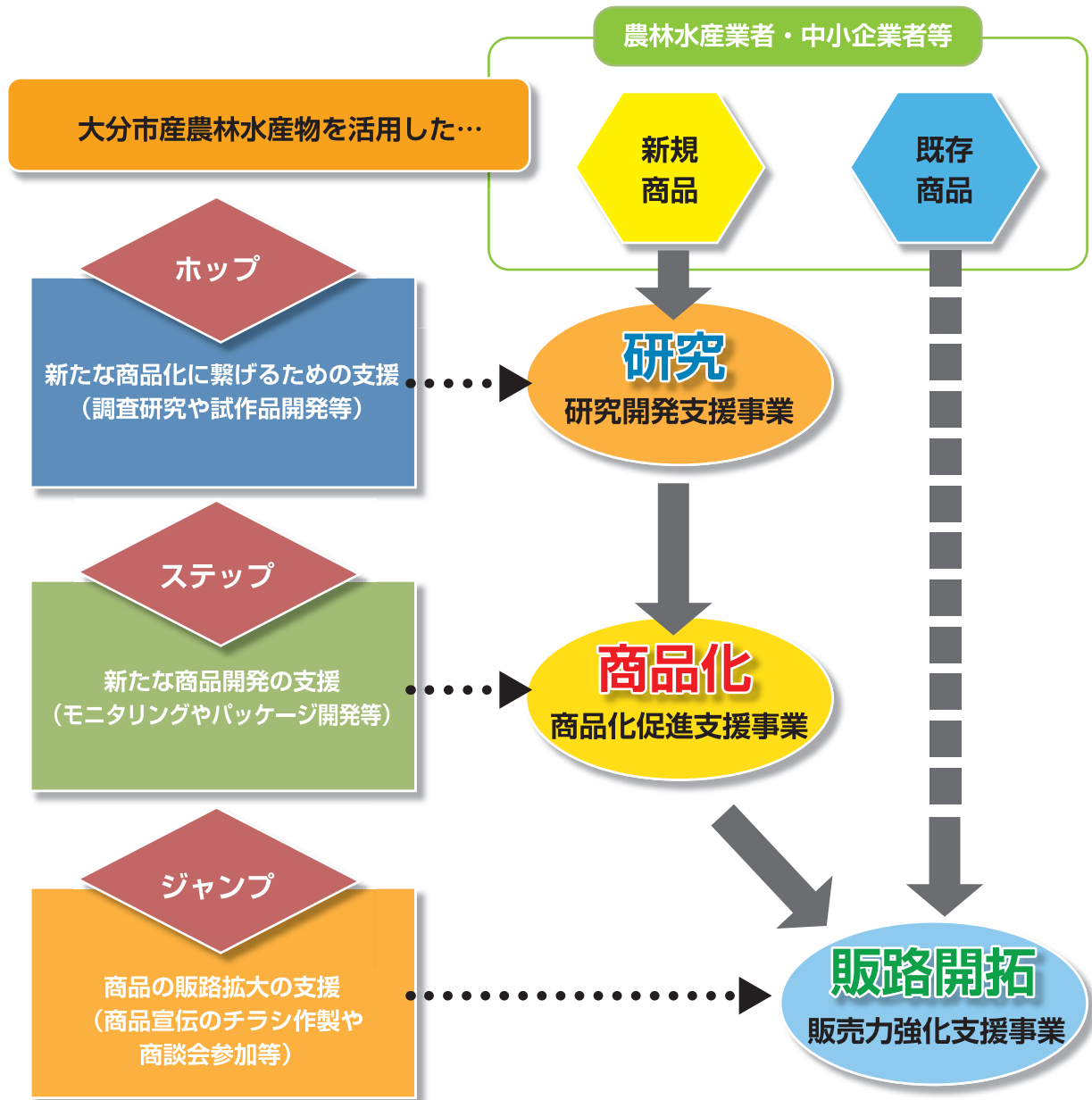
基本的な方向

- ◆市産農林水産物の地元消費の拡大及び新たな販路確保の推進
- ◆6次産業化や農商工連携による加工品開発の推進
- ◆消費者ニーズに対応した農林水産物のブランド化の推進



ものづくり（施策の要）

農林水産物ブランド化の支援のイメージ



3 特性を生かした活力ある地域づくり

重点推進項目

- ◎生産基盤の整備
- ◎担い手への農地集積
- ◎有害鳥獣の被害軽減対策

(1) 農山漁村環境の整備と維持管理

基本的な方向

- ◆農山漁村における地域の抱える課題解決に向けた効率的な作業による生産性の向上と防災機能を有する生産基盤の整備推進
- ◆農山漁村の豊かな自然環境や美しい景観の保全と快適な生活環境の確保

(2) 優良農地等の保全と効率的利用の促進

基本的な方向

- ◆農業振興地域整備計画に定める優良農地の確保と農地の適正利用の推進
- ◆農地の有効活用による地域の担い手の経営安定や遊休農地の発生防止

(3) 都市との交流による農山漁村の活性化

基本的な方向

- ◆魅力ある地域資源を活用した都市住民と農林水産業者との交流による農山漁村の活性化
- ◆農林水産業と観光産業の連携による地域の活性化



大分市が発祥とされるにら豚

(4) 多面的機能の維持発揮

基本的な方向

- ◆国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、景観の形成、災害の発生防止、伝統文化の継承などの多面的機能の維持・発揮

(5) 有害鳥獣被害対策

基本的な方向

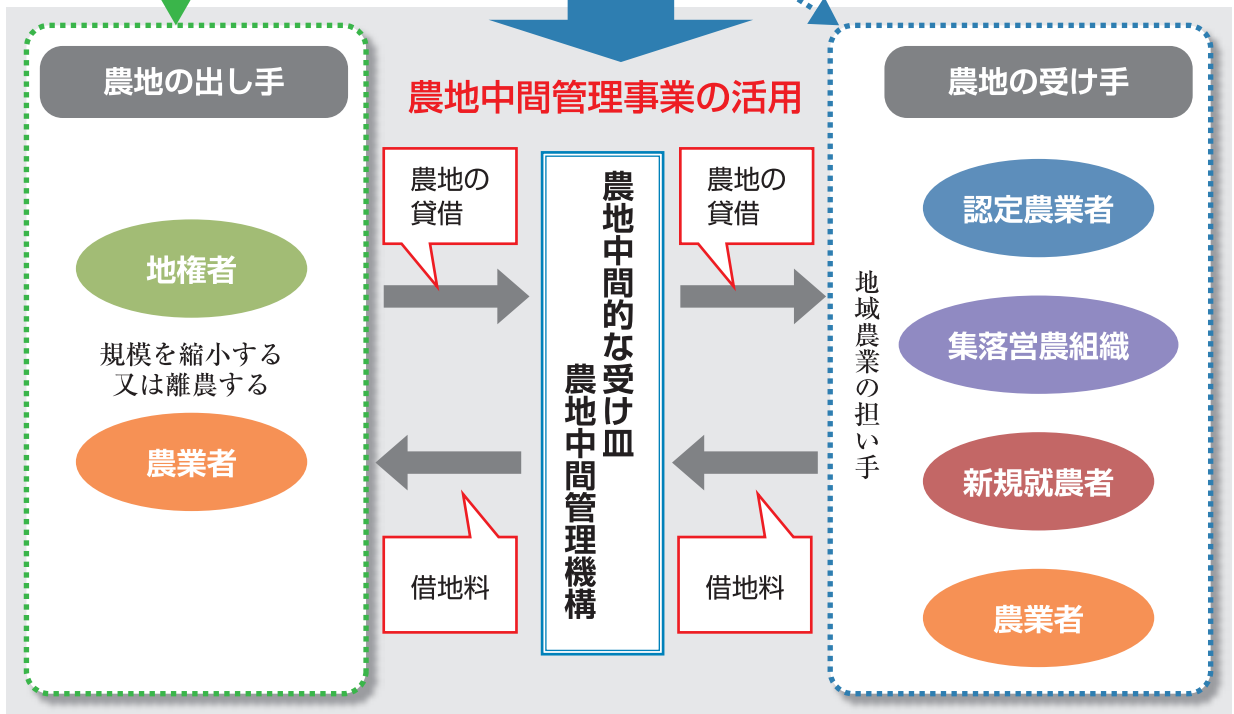
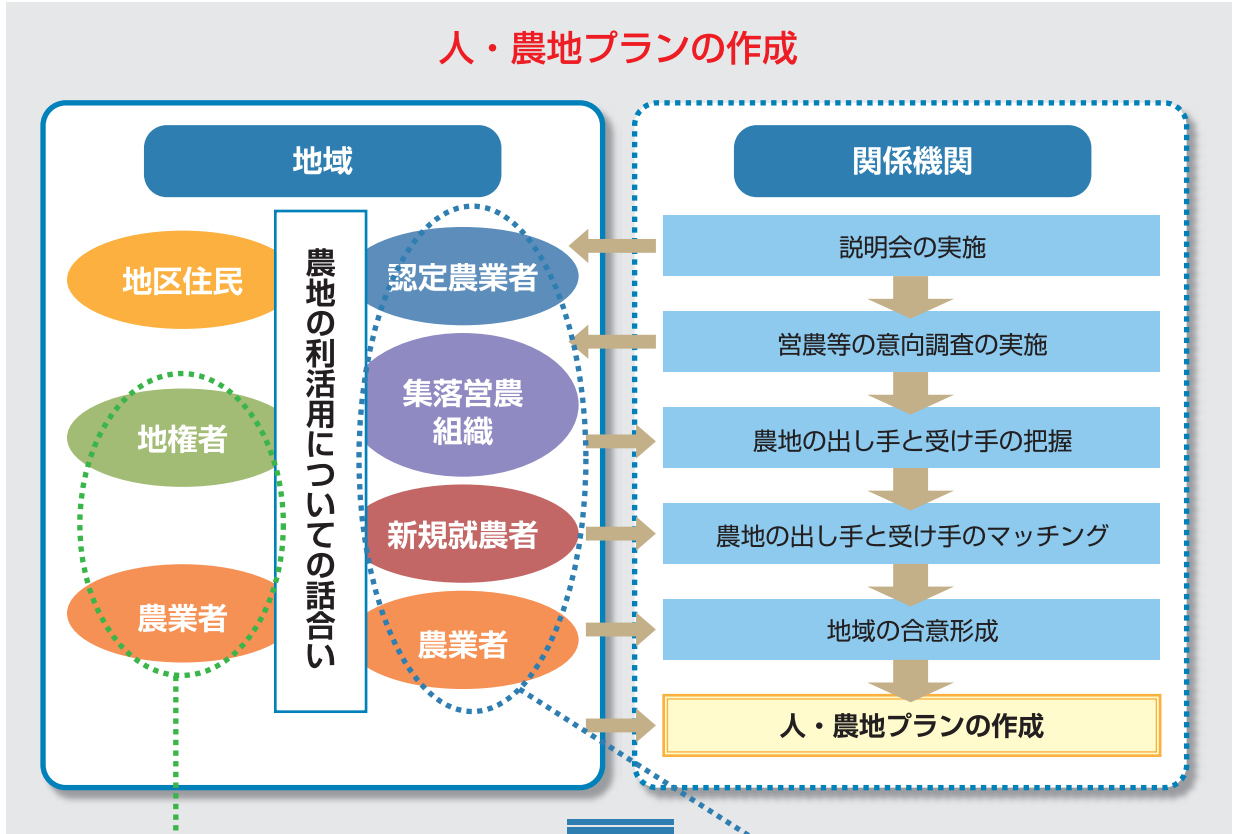
- ◆有害鳥獣による農林水産物や地域住民に対する被害対策の推進
- ◆周辺自治体との連携による効果的・効率的な有害鳥獣被害対策の強化
- ◆野生鳥獣の肉（ジビエ）の普及と啓発の促進



ジビエ料理（しし肉ちまき）

担い手への農地集積の流れ

人・農地プランの作成



12 主な目標指標

重点推進項目

	項目	H27年度（現状値）	H33年度（目標値）	
将来の農林水産業を支える人づくり	集落営農組織数	17組織	30組織	
	うち法人数	6法人	15法人	
	新規就業者数	農業 ※H26年度からの累計	22人	90人
		林業（林業事業体における新規就業者数） ※H27年度からの累計	3人	30人
		水産業（1ターン等就業者数） ※H22年度からの累計	7人	25人
	他産業からの年間農業参入数 ※H27年度からの累計	2社	10社	
	認定新規就農者数	7人	50人	
信頼され魅力あふれるものづくり	年間クロメ生産量	11,684kg	16,500kg	
	直販所販売金額	26億円	30億円	
	地域材利用量 ※主要製品市場における地域材製品の市内向け出荷量	5,720m ³	7,000m ³	
	6次産業化商品化数 ※H23年度からの累計	23品目	50品目	
特性を生かした活力ある地域づくり	生産基盤を整備する地区数（農業）	—	20地区	
	認定農業者の1経営体あたり経営面積	292a	400a	
	農地中間管理事業による集積面積	25ha	100ha	
	農地流動化面積	608ha	730ha	
	有害鳥獣による農林水産物の被害金額	16,384千円	5,800千円	

重点推進品目の生産量と出荷量の目標

品目	H27年度（現状値）		H33年度（目標値）		
	生産量	産出額(千円)	生産量	産出額(千円)	
農業	おおば	544.9t	1,725,158	635t	1,755,000
	にら	1,821.3t	883,193	2,230t	1,020,000
	みつば	649.0t	399,389	675t	480,000
	いちご	189.1t	196,633	310t	330,000
	水耕せり	143.2t	134,931	165t	155,000
	パセリ	52.8t	47,482	55t	50,000
	ピーマン	72.5t	25,199	160t	50,000
	乳用牛（生乳）	9,023.0t	977,562	9,150t	1,000,000
	肉用牛	和牛子牛	160頭	106,740	190頭
雑子牛		588頭	108,632	635頭	110,000
林業	木材	11,419m ³	134,584	25,000m ³	300,000
	乾椎茸	39.5t	205,045	50t	230,000
水産業	関あじ・関さば	255.5t	381,756	270t	422,000
	イサキ	51.3t	103,115	55t	108,000

大分市農林水産部農政課 〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

TEL（代表）097-534-6111（直通）097-537-5628 FAX 097-534-6176 メール noseil@city.oita.oita.jp